

## 令和6年度 長崎県中学校柔道競技新人大会実施要項

- 1 主 催 長崎県中学校体育連盟 長崎県教育委員会 長崎県柔道協会
- 2 主 管 長崎県中学校体育連盟柔道競技専門部
- 3 日 時 令和6年10月27日(日) 受付・計量 8:00～8:50  
審判監督会議 9:05  
試合開始 9:20  
終了予定 16:30
- 4 会 場 小野体育館 諫早市黒崎町170番地3

### 5 参加制限及びチーム編成

- (1) 引率・監督は、出場校の校長・教員・部活動指導員(学校教育法施行規則第78条の2に示されている者。以下同じ)とする。地域クラブ活動においては責任ある代表者・指導者とする。
- (2) コーチを登録してもよい。ただし、当該校外の中学校教職員はコーチにはなれない。また、コーチは1校1名であり、複数の学校を兼務することはできない。
- (3) 監督、コーチの服装は、審判員に準ずる。
- (4) 長崎県中学校体育連盟が主催する大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員、外部指導者(コーチ)等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとしている。また、地域クラブ活動のチーム・選手の指導者等は、中央競技団体の倫理規程等に基づいて、長崎県柔道協会等から処分を受けていない者であることとする。校長及び代表者はこの点を確認して、大会申込書を作成する。なお、外部の指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。
- (5) 団体戦 ※ 1年生または2年生に限る。
- ① 男子 各チーム1チームとする。監督1名、コーチ1名、選手は3名以上7名以内とする。チーム編成は、最も体重の重い選手を大将とし、以下体重順に編成する。4名または3名でチームを編成している場合は、大将からつめる。
- ② 女子 各チーム2チームまでとする。監督1名、コーチ1名、選手2名以上、4名以内とする。チーム編成は、最も体重の重い選手を大将とし、以下体重順に編成する。2名でチームを編成する場合は、大将からつめる。
- ③ 男女ともに補欠選手と入れ替える場合も、体重順に編成する。また、一度退いた選手の再出場は認めない。
- (6) 個人戦(男子8階級、女子8階級を設ける)
- ① 男子
- ・50kg級(50kg以下)
  - ・60kg級(55kgを超えて60kg以下)
  - ・73kg級(66kgを超えて73kg以下)
  - ・90kg級(81kgを超えて90kg以下)
  - ・55kg級(50kgを超えて55kg以下)
  - ・66kg級(60kgを超えて66kg以下)
  - ・81kg級(73kgを超えて81kg以下)
  - ・90kg超級(90kgを超える)
- ※ 各階級1年生または2年生4名以内とする。
- ② 女子
- ・40kg級(40kg以下)
  - ・48kg級(44kgを超えて48kg以下)
  - ・57kg級(52kgを超えて57kg以下)
  - ・70kg級(63kgを超えて70kg以下)
  - ・44kg級(40kgを超えて44kg以下)
  - ・52kg級(48kgを超えて52kg以下)
  - ・63kg級(57kgを超えて63kg以下)
  - ・70kg超級(70kgを超える)
- ※ 1年生または2年生で人数制限なし。

### 6 競技規則

- (1) 国際柔道連盟試合審判規定(2024年4月1日施行の新ルール)及び国内における「少年大会特別規定」による。
- (2) 柔道衣は白色とする。
- (3) (公財)講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。
- (4) 女子の有段者は、白線なしの黒帯を使用する。

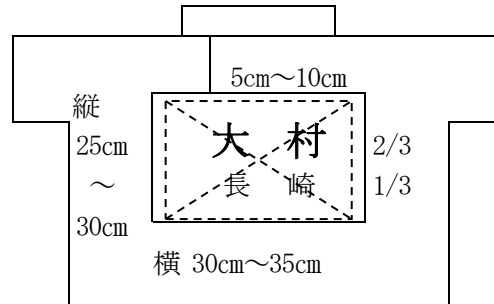
### 7 競技方法

- (1) 団体戦 トーナメント方式で行う。
- (2) 個人戦 各階級ともにトーナメント方式で行う。 ※ 出場チーム数、選手数によっては変更することもある。
- (3) 優劣の判定基準は次のとおりとする。
- ① 団体戦の判定基準は、「一本」「技あり」又は「僅差(『指導』の差2以上)」とする。
- ア 両者その内容に満たない場合は「引き分け」とする。優劣の成り立ちは以下のとおりとする。
- 「一本」＝「反則勝ち」＞「技あり」＞「僅差」
- イ 勝敗は次の方法によって決定する。
- a チーム間における勝ち数による。
- b aにおいて同等の場合は、内容により決定する。
- c bにおいて同等の場合は、1名による代表戦により決定する。
- ウ 代表戦は任意の選手とし、判定基準は団体戦と同様とするが、3分間の本戦で得点差がない場合は、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。延長戦による勝敗の決定方法は個人戦と同様とする。
- ② 個人戦の判定基準は、「一本」「技あり」又は「僅差(『指導』の差2以上)」とする。得点差が無い場合は時間無制限の「延長戦(ゴールデンスコア)」により勝敗を決する。延長戦(ゴールデンスコア)で技あり以上、もしくは新たに指導差がついた時点で勝敗が決する。
- (4) 試合時間は、団体戦・個人戦ともに3分間とし、延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。

- (5) 柔道衣の背部にゼッケンを縫い付ける。ゼッケンの規格は次のとおりとする。

【規格】

- ① 布地は、白色とする。
- ② サイズは、横30cm～35cm  
縦25cm～30cm
- ③ 名字(姓) 上側2/3  
学校名 下側1/3
- ④ 男子は黒色、女子は赤色で  
太く横書きで書く。
- ⑤ 縫い付けの場所は後襟から  
5cm～10cm下部の所で、周囲と  
対角線を強い糸で縫い付ける。



- (7) 女子選手は柔道衣の下に白のTシャツを着用する。Tシャツのマーキングについては、全日本柔道連盟が定める規定(平成25年4月1日より施行)に準ずる。
- (8) 計量は、基本的に男子は下ばき(ズボン)のみ、女子はTシャツと下ばき(ズボン)のみ着用で行う。個人戦計量において、登録した階級の制限体重を超える心配がある場合は、申告すれば、別室にて軽装での計量を許可する。できるだけ一回の計量で済むようにしておく。
- (9) 服装については、審判員が初戦で確認し、不備があれば失格とする。ただし、試合中に破れたりした場合には大会本部で指示をするが、替えの柔道衣を準備するのが望ましい。
- (10) 選手(団体戦の場合には選手全員)が試合場に現れなかった場合、場内放送でコールして30秒以内にその試合場の審判に申し出ない場合には失格とする。
- (11) 申し込み提出後、選手の負傷等で選手登録変更を必要とするときには、当該校長印・代表者印付きの選手変更届を監督会議までに提出すること。個人戦の選手変更は認めない。
- (12) (公財)全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣・下穿き・帯)を着用すること。

## 8 表彰

- (1) 団体戦 優勝校に優勝旗を与える。第3位までに賞状を与える。
- (2) 個人戦 各階級第3位までに賞状を与える。

## 9 参加費

- (1) 団体戦 男女それぞれ1チーム 5,000円。(女子は複数チーム出場しても5,000円)
- (2) 個人戦 1人500円。ただし、団体戦出場者は除く。
- (3) 参加費に関しては、当日集金する。参加申込後の返金は行わない。

## 10 申し込み(修正液等は使用不可)

- (1) 申込方法
  - ① 別添の申込みExcelファイルに入力し、必ず、中学校名がわかるよう件名に記名し、下記に送信する。
  - ② 入力したExcelファイルをプリントアウトし、校長印・代表者印を押したものを1部作成し、下記に郵送すること。  
※ 特殊な漢字の氏名は、データには(ひらがな)で入力し、申込用紙に手書きで漢字を記入する。電話でも連絡すること。  
※ メール送信ができない場合は、申込用紙のみ郵送し、メール送信をしていないことを電話で連絡すること。  
※ 申し込みメールデータが必要な場合は、県中体連ホームページ <http://www.nagasaki-chutairen.jp/> からダウンロードすること。個人戦申込において記入欄が不足する場合は、コピーして使うこと。

### (2) 申込先

〒856-0812 大村市桜馬場2丁目487番地1 大村市立桜が原中学校 永瀬 諒 宛  
TEL 0957-55-1166 FAX 0957-55-1167  
※必須!! ① メールでデータ送信 [liangyonglai37@gmail.com](mailto:liangyonglai37@gmail.com) まで送信すること。  
② 申込原本1部郵送(住所上記)

### (3) 申込期限 令和6年10月11日(金) 必着

## 11 その他

- (1) 欠場や当日計量によるオーダーの変更は、審判監督会議の中で知らせる。変更内容は、対戦表示にて示す。
- (2) ごみは、必ず持ち帰ること。選手・監督・応援保護者は、マナーを守り、試合に臨むこと。
- (3) 皮膚真菌症(トンズランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。
- (4) 脳震盪対応について、選手及び指導者は下記事項を遵守すること。
  - ① 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した選手は、脳神経外科の診察を受け、出場許可を得ること。
  - ② 大会中、脳震盪を受傷した選手は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(至急専門医の精査を受診。)
  - ③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診察を受け、許可を得ること。
  - ④ 当該選手の監督は、柔道競技専門委員長(大村市立桜が原中学校 永瀬)に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- (5) 柔道衣の取り扱いについて、本新人大会では柔軟に対応するが、長崎県中総体、九州・全国中学校柔道大会では、(公財)全日本柔道連盟通知「本連盟主催大会における柔道衣企画の取り扱いについて」に基づき、認定柔道衣以外の着用は認められない。できるだけ早めに揃えること。